

和地小学校 外国語活動実践報告

5年 What's this? クイズ大会をしよう (Hi, friends!1 - Lesson7)

1 単元計画 (5時間)

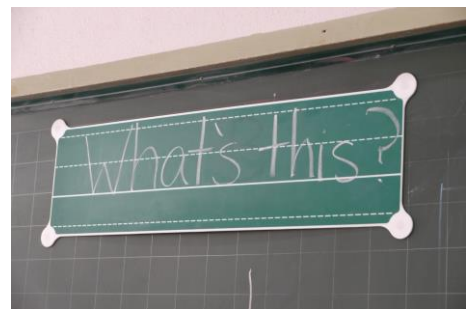
段階	学 習 活 動
導 入 (1)	○ 身の回りの物を表す語を聞いたり発音したりして、慣れ親しむ。 ・ポインティングゲーム ・キーワードゲーム ・ミッシングゲーム ・教師によるスキット ・チャンツ など
展 開 (2)	○ キーセンテンスを繰り返し聞いたり発音したりすることで、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・シルエットクイズ ・スリーヒントクイズ ・パズルクイズ ・キーワードゲーム ・チャンツ ・ブラックボックスクイズ など
終 末 (2)	○ これまでに行ったクイズから1つ選んでクイズを作り、クイズを出したり答えたりする。 ・キーセンテンスやキーワードを使って交流をする。

2 活動の様子



・ 3Hints をペアから聞いて、自分のカードが何のフルーツかを当てる、スリーヒントクイズをした。ヒントを出すときに今までに学習したことや、普段の生活の中で耳にしたことのある単語を使わせるために、意図的に3Hintsの観点を示した。(Hint 1.色、Hint 2.形、Hint 3.よく食べる動物や産地) そうすることにより、多くの児童が自信をもって発音し、ヒントを出すことができていた。しかし、対象をフルーツに限定し簡単にしたことにより、児童の興味は継続しなかった。そこで、が興味をもって楽しく取り組めるように、ゲームの後半では同じ観点で後半にレベルの高い課題にすることにより、意欲が向上した。

- ・ 英単語や英文との出会いを大切にしたいと考え、小中のスムーズな移行も意識して、今年度から四線譜黒板を利用し、キーセンテンスやキーワードを書くようにした。そうすることにより、単語と単語の切れ目を意識して発音したり、文字の大きさを認識したりすることができ、より正しい知識を子供たちに指導することができた。



3 成果と課題

- ゲームを取り入れて単語練習を行ったことで、多くの児童が意欲的に活動に参加することができた。また、キーセンテンスやキーワードを繰り返し聞いたり発音したりすることができ、理解を深めた。
- スリーヒントクイズの際にヒントの観点を決めたことで、既習の単語を意図的に使わせることができた。

4 課題点

- 時間配分が課題である。コミュニケーション活動では、1つの活動を長く続けたことで、児童の集中力が持続しなかった。途中で振り返りを挟むなどして、メリハリをつけたい。
- 児童への動機付けが課題である。クイズの対象をフルーツと限定してしまったため、児童の自発的な活動とはならなかった。どのような投げかけをすれば児童が自発的な活動をするか、実践を進めていきたい。